



第67号 発行日 平成25年9月

日頃、地域医療連携にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

先日、がん地域連携パス協議会が開催され、連携パスの運用状況や今後の課題について協議を行いました。今後も、地域にあった方法を当院と地域医療機関の先生方と検討しあい、より円滑な運用に努めていきたいと思っております。

今回は、がん連携パス協議会の一部をご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

第3回 がん地域連携パス協議会を開催して

日時：平成25年9月5日（木）18:30～19:30

場所：横手シャイニーパレス 5F

参加者：横手市医師会長、副会長、理事、横手保健所長、健康・予防課担当者、横手市地域包括支援センター保健師、平鹿総合病院関係者14名 計20名

目的：がん地域連携パスの推進と連携の円滑化

報告事項：1. がん地域連携パスの運用状況について
2. がん地域連携パスの運用に関するアンケート結果について

協議事項：1. がん地域連携パスの普及・推進について
2. 経口化学療法剤を必要とする患者さんの連携方法について



がん連携パスの運用状況

平成24年度

- ・パスの種類：胃がん 5名 大腸がん 1名
- ・化学療法の実施：胃がん 1名（TS-1内服）
- ・患者の平均年齢：77.8歳
- ・連携医：小田嶋 傑 先生
高橋 和彦 先生

平成25年度（8月31日現在）

- ・パスの種類：胃がん 2名 大腸がん 1名
- ・化学療法の実施：なし
- ・患者の平均年齢：80.3歳
- ・連携医：阿部 道浩 先生
亀谷 武彦 先生
山崎 幸雄 先生

アンケート結果

調査目的：がん連携パスの運用上の課題を明らかにする

調査期間：平成25年4月～8月

調査対象：平成24年度にがん連携パスを運用した患者6名

調査結果

Q1.「がん地域医療連携パス」の用語について
知っている 2名 知らない 4名

Q2.当院とかかりつけ医の連携について
よい 5名 どちらともいえない 1名

- (理由)・安心できる 6名
- ・通院時間が短縮する 3名
 - ・待ち時間が短縮する 3名
 - ・診療費が高いように思う 1名

Q3.「私のカルテ」の活用について

- ・受診時に持参する 6名
- ・記載内容を見る 4名

調査対象：平成24年4月1日～平成25年8月2日までに運用を開始した連携医4名

調査結果

Q1.パス開始時の情報提供の時期について
適切であった 4名

Q2.パス開始時の情報提供の内容について
十分であった 3名
情報が少ない 1名（MTの内容が知りたい）

Q3.パスの効果について

- ・がん拠点病院と連携しやすい 4名
- ・連携医にとって検査・治療内容がわかりやすい 2名
- ・患者にとって検査・治療内容がわかりやすい 2名